

試験栽培業務の紹介

札幌市農業支援センターでは、地域農家の要望に応えるべく試験栽培を行っています。このうち今年度実施の試験を2件紹介します。試験成績は来春ごろ、札幌市公式ホームページ上で公開します。

1 エダマメの早採り栽培法検討試験

ビアガーデン等でエダマメの需要が高まる7月下旬から8月上旬に採れたての地場産が出回るよう、早採りかつ省力的な栽培が可能か検証を行いました。

昨年度の試験で収穫が早く風味が良かった「味風香」（雪印種苗）、「はやいつ茶」（渡辺採種場）と、対照品種の「サッポロミドリ」（雪印種苗）の3品種を4月22日に播種、5月上旬に定植し、トンネル栽培を行いました。

その結果、3品種とも7月下旬に収穫に至りました。はやいつ茶は生育が早く、莢数も多かったのですが、草丈が高い分倒伏が目立ちました。味風香はやや生育が遅かったものの莢重が最大でした。サッポロミドリは着莢位置が高く、莢に汚れが付きにくいという結果になりました。

また同時に、植穴を深く掘り株全体が穴の中に収まるように置き、トンネルを使わずパオパオで被覆するという省力栽培試験も試みましたが、草丈が想定以上に高く、パオパオ被覆が困難だったため、トンネル栽培と比較して収穫が1週以上遅れ、収量も莢重で4分の1程度という結果になりました。省力栽培法については今後の課題として再検討する予定です。

表 収穫調査結果

品 種	草丈	最下着莢位置	莢数	莢重	倒伏率	定植日	収穫日
サッポロミドリ	28.7cm	8.4cm	14個	50.7g	15%	5月 6日	7月27日
はやいつ茶	38.4cm	5.7cm	17.5個	46.0g	95%	5月 6日	7月22日
味風香	31.3cm	6.7cm	16.7個	66.6g	20%	5月10日	7月27日

※数値は1株あたり。莢数、莢重は規格品のみ



生育中 (味風香)



収穫調査 (1サッポロミドリ、2はやいつ茶、3味風香)

2 ホウレンソウの品種比較試験

(一社)日本種苗協会の依頼で来年度実施予定の秋採りほうレンそう品種審査会に先立ち、本年度試行的に8月半ばまきおよび9月初頭まきに適した品種を調べるための試験栽培を行っています。これまでの試験で優秀な成績だった4品種を含めた各15品種を選定し、発芽率の良否や収穫までの日数、草丈、重量、葉色、食味等を品種ごとに調査しています。



試験ハウス (左：9月6日播種、右：8月17日播種)



収穫調査 (8月17日播種 ハンター)

問い合わせ先

札幌市農政部農業支援センター

Tel.011-787-2220